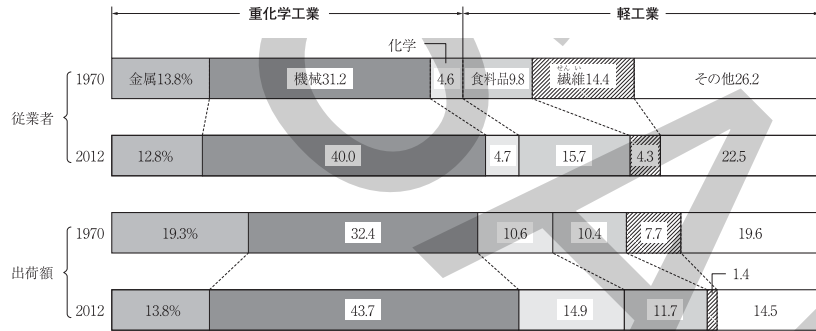


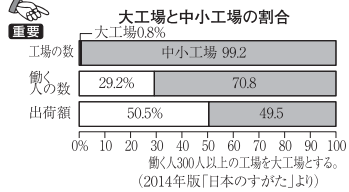
2 日本の工業

①日本の工業の特色

産業別構成



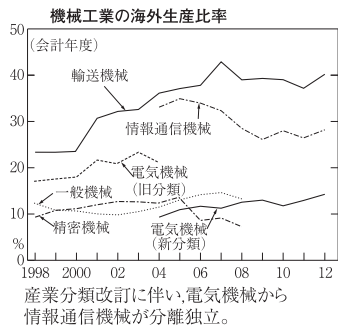
大工場と中小工場



大工場と中小工場

大工場は、設備が整っており、1人あたりの生産額や賃金が高いのが特徴です。
 中小工場は、大工場に比べて資金が少なく1人あたりの生産額や賃金が高いことが多くなっています。しかし、中小工場には、高い技術をもつ工場がたくさんあります。

産業の空洞化

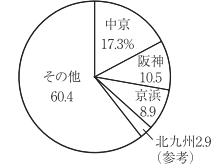


産業の空洞化

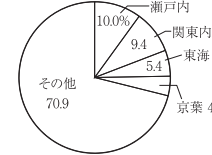
おもな産業の海外進出にともなって、国内の産業がおとろえていくことを産業の空洞化といいます。
 日本では、1980年代後半に、円高や貿易摩擦によって自動車やテレビなど機械工業製品の海外現地生産がさかんになり、産業の空洞化が問題となりました。
 現在でも、海外生産の比率が高まる傾向にあります。

②おもな工業地帯・工業地域

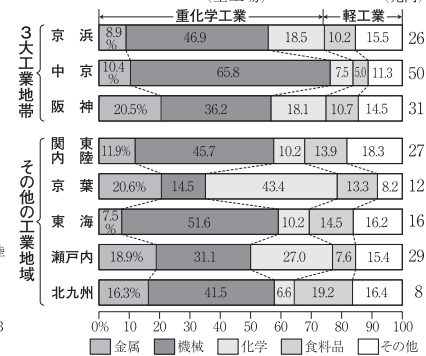
3大工業地帯の工業製品出荷額 (全国: 291兆円)



おもな工業地域の工業製品出荷額



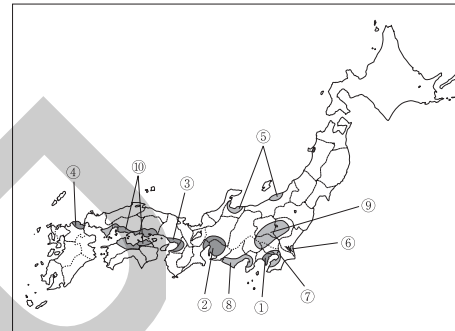
おもな工業地帯の工業製品出荷額 (全工場) (兆円)



中京工業地帯では、自動車工業をはじめとする機械工業がさかん。

阪神工業地帯では、鉄鋼業など金属工業がさかん。

京葉工業地域では、化学工業がさかん。

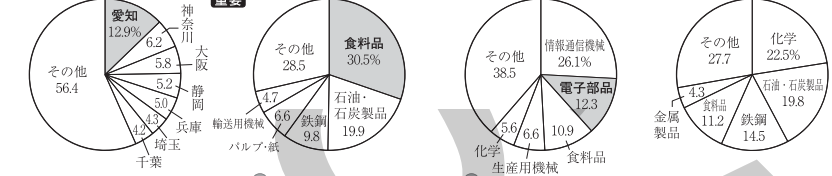


- ①京浜工業地帯
- ②中京工業地帯
- ③阪神工業地帯
- ④北九州工業地帯(工業地域)
- ⑤北陸工業地域
- ⑥鹿児島海工業地域
- ⑦京葉工業地域
- ⑧東海工業地域
- ⑨関東内陸工業地域
- ⑩瀬戸内工業地域

京浜工業地帯…第二次世界大戦後から近年まで日本最大の工業地帯でした。印刷業などがさかんです。
 中京工業地帯…日本最大の工業地帯です。日本最大の自動車工業都市である豊田などが含まれます。
 阪神工業地帯…第二次世界大戦前は日本最大の工業地帯でした。中小工場が多いのが特徴です。
 北九州工業地帯(工業地域)…八幡製鉄所の建設などにより発展しました。今では工業地帯としての地位が低下しています。
 北陸工業地域…石油化学工業や金属工業がさかんです。伝統工業も古くから発達しました。
 鹿児島海工業地域…掘り込み港がつくれ、そこを中心に製鉄所や石油化学コンビナートが広がっています。
 京葉工業地域…市原を中心に石油化学コンビナートが広がっています。千葉では製鉄所があります。
 東海工業地域…浜松ではオートバイや楽器の生産、富士では紙・パルプ工業がさかんです。
 関東内陸工業地域…機械工業の割合が高く、中でも自動車や電気機械の製造がさかんです。
 瀬戸内工業地域…倉敷や周南には石油化学コンビナートが広がっています。鉄鋼業や造船業などもさかんです。

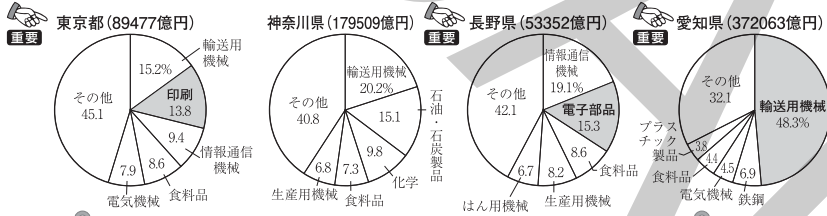
③都道府県の工業出荷額(2011)

都道府県別工業出荷額割合



食品工業がさかん。

東北地方では電子工業がさかんになっている。



情報が集まる東京では印刷業がさかん。

愛知には、最大の自動車工業都市の豊田が位置する。

産業別出荷額

食品		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	北海道	18690
2	愛知	16309
3	兵庫	14335
4	埼玉	13878
5	千葉	13389
全国		243367

パルプ・紙・紙加工品		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	静岡	8244
2	愛媛	5219
3	埼玉	4194
4	北海道	4065
5	愛知	3672
全国		68977

印刷・同関連業		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	東京	12339
2	埼玉	7911
3	大阪	5191
4	愛知	3640
5	京都	2531
全国		57087

静岡県の富士・富士宮、北海道の苫小牧でさかん。

東京、大阪、愛知など大都市圏が上位。

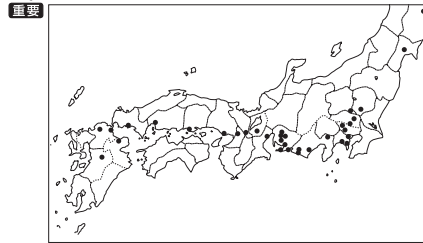
鉄鋼業		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	愛知	25555
2	兵庫	19271
3	千葉	17368
4	広島	14910
5	大阪	13789
全国		187192

輸送用機械器具		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	愛知	179850
2	静岡	39028
3	神奈川	36290
4	広島	24187
5	群馬	23808
全国		506662

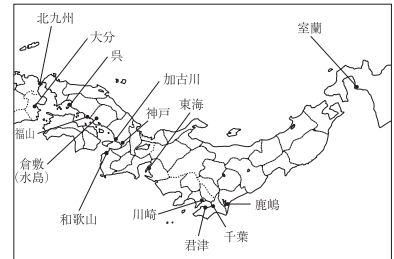
情報通信機械器具		
順位	都道府県	出荷額 (億円)
1	長野	10175
2	東京	8413
3	神奈川	7858
4	兵庫	7649
5	山形	6942
全国		100779

④工場の分布

おもな自動車工場所在地 (2013年4月1日現在)



おもな鉄鋼工場所在地 (2013年6月現在)



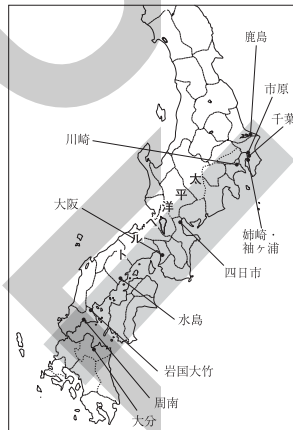
原料の輸入や製品の輸出に便利な海岸沿いに分布。

おもな半導体工場の所在地 (2013年)



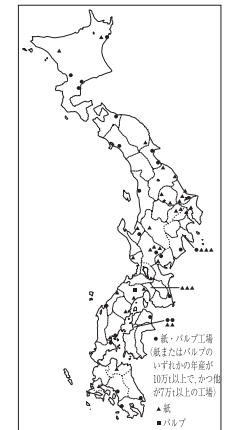
半導体工場
近年、東北地方の東北自動車道沿いに半導体の工場が集中するようになりました。そのため、東北地方はシリコンロードと呼ばれることがあります。
九州地方にも空港付近などに半導体の工場が集中しているため、九州地方は、シリコンアイランドと呼ばれることがあります。

おもな石油化学コンビナート所在地 (2012年末現在)

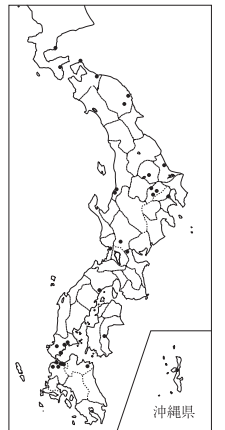


原油の輸入に便利な海岸沿いに分布。

おもなパルプ・紙製造工場所在地 (2012年末現在)



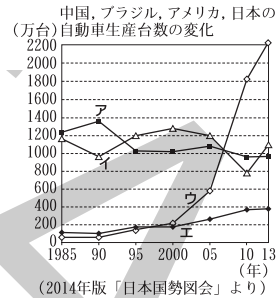
おもなセメント工場所在地 (2013年4月1日現在)



4 | 工業

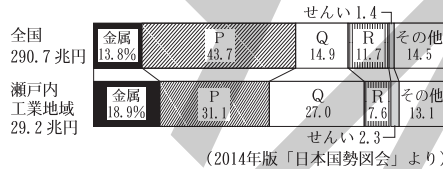
□(1) 次の文は、中華人民共和国(中国)の自動車生産台数の変化を説明したものです。この変化を示すものを右のグラフ中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

中華人民共和国の自動車生産台数は、1990年ごろから増加しはじめ、2013年には2005年の3倍以上になっています。



□(2) 右のグラフは、全国と瀬戸内工業地域の工業出荷額の総額と内訳を表している。グラフ中のP、Q、Rにあて

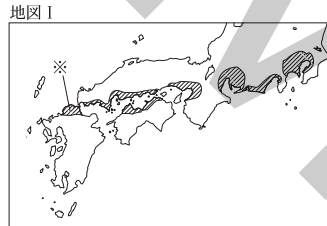
- はまる組み合わせとして最も適当なものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア P=機械 Q=化学 R=食料品
イ P=機械 Q=食料品 R=化学
ウ P=化学 Q=機械 R=食料品
エ P=化学 Q=食料品 R=機械



□(3) 右の略地図Ⅰ・Ⅱと表を見て、次の問いに答えなさい。

□① 地図Ⅰ中の斜線で示した地域を中心として、沿岸部に連続して立地している臨海工業地域は何とよばれていますか。6字で答えなさい。

また、表中のA～Dの工業地帯(工業地域)のうち、地図Ⅰ中に※で示した工業地帯(工業地域)にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



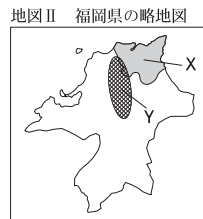
おもな工業地帯(工業地域)の工業製品出荷額(単位 十億円)

おもな工業地帯(工業地域)	工業製品出荷額	
	1980年	2012年
A	25102	50370
B	37613	25956
C	30263	30660
D	5834	8378
全国	214700	290696

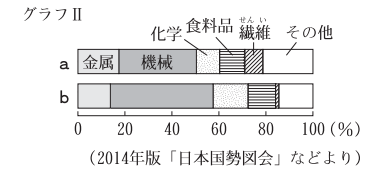
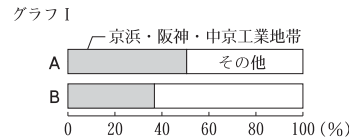
(2014年版「日本国勢図会」より)

Yの地では古くから(a)が採掘され、これを背景としてXの都市の工業が発達しました。Xの都市では、1901年に官営の工場である(b)がつけられました。

- ア a=石炭 b=八幡製鉄所 イ a=鉄鉱石 b=八幡製鉄所
ウ a=石炭 b=富岡製糸場 エ a=鉄鉱石 b=富岡製糸場

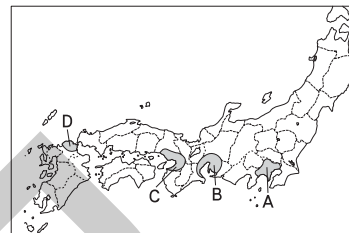


□(4) 次のグラフⅠのA、Bは、1970年と2012年のいずれかの、全国の工業製品出荷額における、京浜工業地帯、阪神工業地帯、中京工業地帯の三つの工業地帯がしめる割合を示しています。また、グラフⅡのa、bは、1970年と2012年のいずれかの、全国の工業製品出荷額の産業別の割合を示しています。あとのア～エのうち、それぞれ2012年を示すものの組み合わせとして最も適当なものを1つ選び、記号で答えなさい。



- ア Aとa イ Aとb ウ Bとa エ Bとb

□(5) 次のア～エのグラフは、それぞれ略地図中のA～Dの工業地帯や工業地域のいずれかの工業製品出荷額とその工業別割合を表したものです。Bの工業地帯にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。



	金属 8.9%	機械 46.9	化学 18.5	食料品 10.2	その他 15.5
ア 26兆円					
イ 8兆円	16.3%	41.5	6.6	19.2	16.4
ウ 31兆円	20.5%	36.2	18.1	10.7	14.5
エ 50兆円	10.4%	65.8	7.5	5.0	11.3

(2014年版「日本国勢図会」より)

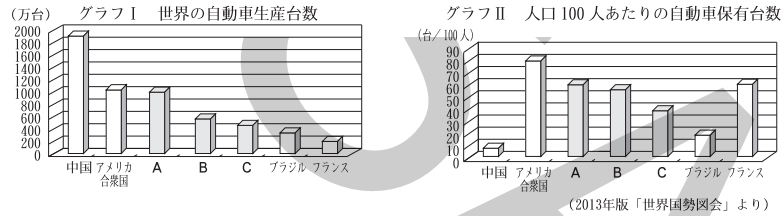
□(6) 次のグラフは、群馬県、千葉県、長野県、富山県、福井県、和歌山県における産業別製造品出荷額等の割合を示しています。これらのグラフから読み取れることとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

県	食品・飲料					その他
	輸送用機械	化学	業務用機械	飲料	飼料	
群馬	31.9%	8.2	6.8	6.3	6.2	40.6
千葉	22.5%	石油・石炭製品 19.8	鉄鋼 14.5	11.2	4.3	27.7
長野	情報通信機械 19.1%	電子部品 15.3	8.6	8.2	6.7	42.1
富山	化学 14.8%	11.4	10.9	10.8	10.0	42.1
福井	電子部品 18.0%	化学 16.3	繊維 14.2	7.8	5.9	37.8
和歌山	鉄鋼 28.4%	石油・石炭製品 26.2	10.9	6.8	4.6	23.1

(2014年版「県勢」より)

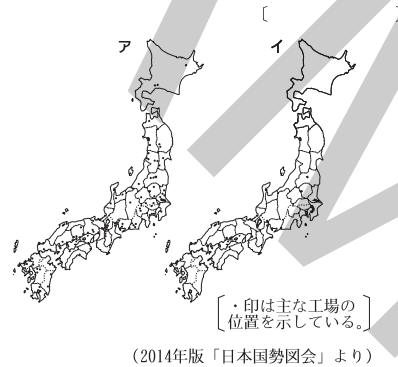
- ア 内陸に位置している県では、いずれの県も上位5位までに石油製品が入っている。
イ 太平洋に面している県では、いずれの県も上位5位までに情報通信が入っている。
ウ 海に面している県では、いずれの県も上位5位までに化学が入っている。
エ 日本海に面している県では、いずれの県も上位5位までに金属製品が入っている。

□(7) 次のグラフⅠは世界の自動車生産台数の上位国を、グラフⅡはそれらの国々の人口100人あたりの自動車保有台数を示したものです。グラフ中のA～Cにあてはまる国の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア A=日本 B=ドイツ C=大韓民国(韓国)
 イ A=日本 B=大韓民国(韓国) C=ドイツ
 ウ A=ドイツ B=日本 C=大韓民国(韓国)
 エ A=ドイツ B=大韓民国(韓国) C=日本

□(8) 右の略地図のA、イは、I C工場、石油化学工場のいずれかの分布を表しています。石油化学工場の分布を表しているものはどちらですか、記号で答えなさい。また、そう判断した理由を、「原油」という語句を用いて書きなさい。



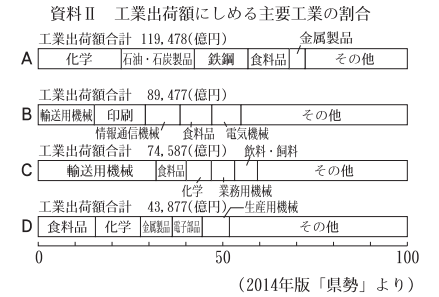
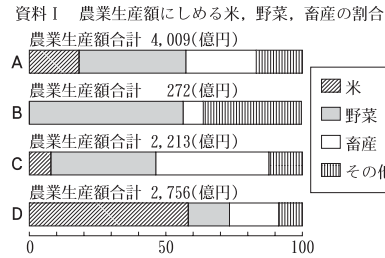
□(9) 次のグラフは、1960年と2012年における日本の工業別の出荷額割合を表したものです。グラフ中のA～Cには、それぞれ機械、せんい、化学のいずれかがあてはまります。A～Cのそれぞれにあてはまる工業の組み合わせとして最も適当なものをあとから1つ選び、記号で答えなさい。

	金属	A	B	食料品	C	その他
1960年	18.8%	25.8	11.8	12.4	12.3	18.9
2012年	13.8%	43.7	14.9	11.7	1.4	14.5

(2014年版「日本国勢図会」などより)

- ア A=化学 B=機械 C=せんい
 イ A=機械 B=化学 C=せんい
 ウ A=化学 B=せんい C=機械
 エ A=機械 B=せんい C=化学

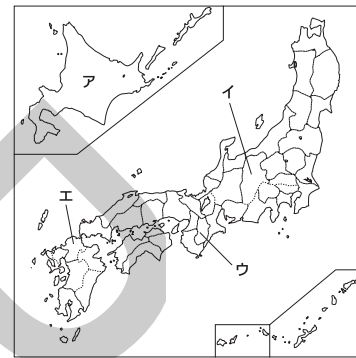
□(10) 資料Ⅰと資料ⅡのA～Dは、群馬県、千葉県、東京都、新潟県のいずれかです。新潟県にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。また、新潟県の工業は、ほかの都県と比べてどのような特色がありますか。簡潔に答えなさい。



□(11) 次の表は、略地図中のア～エの各都道府県の第一次産業就業者割合、鉄鋼業製造品出荷額、スキー場の数を示したものです。表中のBにあてはまる都道府県を地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、その都道府県の名を答えなさい。

都道府県	第一次産業就業者割合(%)	鉄鋼業製造品出荷額(億円)	スキー場(か所)
A	9.7	513	82
B	3.4	9634	0
C	2.7	376	0
D	6.0	6044	30

(2014年版「県勢」より)



□(12) 右のグラフのA～Eは、それぞれ、日本、ロシア、中華人民共和国(中国)、インドのいずれかの鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものです。中国の鉄鋼(粗鋼)生産高の推移を示したものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

